

2-1-1 教員の学位や業績

【次世代教育学部】

こども発達学科	名前(読み)	中井 和弥 (なかい かずや)
	職名	講師
	取得学位	修士(文学)
	専門分野 研究領域	臨床心理学、パーソナリティ心理学
	担当授業	「子ども家庭支援の心理学」「子どもの理解と援助」他
	研究業績	<p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中井(松尾)和弥「保育士は「保育」という語をポジティブに用いているのか?—保育士・介護福祉士・看護師が投稿したTweetsの感情価の比較検討—」『保育学研究』印刷中 2. 中井(松尾)和弥・福井義一「日本人において小児期逆境経験が喫煙・飲酒・身体疾患・自殺企図に及ぼす影響」『Journal of Health Psychology Research』印刷中 3. 中井(松尾)和弥「セキュリティプライミングが自尊感情と親密な対人関係に関する期待に及ぼす影響」『環太平洋大学紀要』第17号, 2022, pp.147-149. 4. 中井(松尾)和弥・高橋百合子「安全感のプライミングが肯定的・否定的感情に及ぼす影響」『豊岡短期大学論集』第17号, 2021, 261-269. 5. 中井(松尾)和弥・福井義一「小児期逆境経験が身体症状による負担感に及ぼす影響—愛着スタイルを媒介変数として—」『心身医学』第61巻, 2021, pp.186-194. 6. 中井(松尾)和弥・福井義一「小児期逆境経験が抑うつ・不安症状に及ぼす影響—愛着スタイルを媒介変数として—」『精神療法』第46巻, 2020, pp.77-86. 7. 松尾和弥・福井義一「被虐待経験が対人ライフイベントに及ぼす影響—愛着スタイルの媒介効果の検討—」『子ども虐待とネグレクト』第22巻, 2020, pp.88-94. 8. 松尾和弥・福井義一「被虐待経験と愛着スタイルが表情の情動認知に及ぼす影響—二つの異なる情動を含んだ表情刺激を用いた検討—」『甲南大学紀要文学編』第170号, 2020, pp.131-137. 9. 大浦真一・松尾和弥・福井義一「被虐待経験は本当に共感性を低下させるのか?—愛着の内的作業モデルを媒介変数として—」『健康心理学研究』第32号, 2020, pp.127-134. 10. 松尾和弥・福井義一「被虐待経験と心身の健康——被虐待経験と内的作業モデルが表情認知に及ぼす影響——」『健康心理学研究』第32号, 2020, pp.117-125. 11. 松尾和弥・島 義弘・武儀山珠美・大浦真一・福井義一「社会的コンピテンスの認知的側面と情動的側面が社会的スキルに及ぼす影響—表情の情動認知課題と自記式尺度を用いて—」『心の危機と臨床の知』第20巻, 2019, pp.59-71. 12. 大浦真一・松尾和弥・福井義一「愛着の顕在・潜在的内的作業モデルが対人スキルと社会適応に及ぼす影響—潜在連合テストを用いた検討—」『甲南大学紀要文学編』第168巻, 2018, pp.135-153.
	所属学会 学会活動	関西心理学会、日本心理臨床学会、日本心理学会、日本感情心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本心身医学会、日本社会心理学会、日本子ども虐待防止学会、日本保育学会
	社会貢献	1. 「マインドフルネス入門」 うつからの復職・再就職セミナー 職場や生活で役立つ心の整え方 ~セルフケア入門~ (NPO 法人日本学び協会 就労移行支援 ワンモア三宮, 2017年9月)